

同志社大学

2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

年 月 日提出

所 属	職 名	氏 名
法学部	教授	高杉 直
研 究 題 目	北米・南米の市場統合と統一国際私法・知的財産法の発展に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、北米・南米の市場統合と統一国際私法・知的財産法の発展に関するものである。</p> <p>北米および南米においては、NAFTA、MERCOSURなどの市場統合が進展している。さらに、将来的には、北米・南米を包括する米州自由貿易市場（FTA A）の実現も予想される。</p> <p>EC・EUの例からも明らかな通り、市場統合の進展に伴って国際取引に関連する広い意味での民事法に関する統一が必要とされる。あるいは、逆に、民事法の統一の進展に伴い、市場統合が比較的容易に進められるという側面もある。</p> <p>本研究は、このような市場統合と民事法の統一の問題について、特に北米・南米の地域に限定し、かつ、とくに国際私法と知的財産法に焦点を当てて研究を行うものである。</p> <p>本年度は、（1）昨年度までの積み残し部分の補充的研究と、（2）総まとめを行った。</p> <p>（1）に関しては、文献調査・実態調査を行うとともに、研究会を開催することにより、相互の理解・認識を深めた。事務局等を訪問して事情聴取を行うと共に、必要な文献等を入手した。</p> <p>（2）に関しては、米州機構の法務官や南米の法律家を招聘してシンポジウムを開催するとともに、総まとめの研究会を行った。今後、各媒体を通じて成果を公表する予定である。</p>	